



さかえ

令和3年
9月号
第454号

発行/栄村役場



スポーツの秋 ～グラウンドを駆ける栄っ子～

栄小学校では、毎週金曜日「元気の時間」として、全校生徒でスポーツを行っています。今回は体を使ったジャンケンと、ジャンケンの勝敗によって、行う動作を変えるものでした。

体だけでなく、勝敗を判断し、決められた動作を行うことは、頭も使います。生徒たちは、判断に戸惑いながらも楽しんでいました。

主な内容

- 新型コロナワクチン接種について……………P 2
- 栄村診療所でのPCR検査について……………P 2
- 雪害対策救助員等の派遣申請について……………P 2
- 災害への備え……………P 3
- 栄村オンライン成人式……………P 4-5
- 各種お知らせ……………P 8-9
- 公民館報(第342号)……………P14-21

栄村の宝 北野植物園！

希少動植物調査員
からの報告⑩

北野植物園をご存じですか？

正式名称は、「栄村自然植物園」です。平成二十一年に北野天満温泉脇に開園し、栄村出身の植物研究者である故石澤進先生を中心に、これまで村内で行われていた植物調査の結果を基に作られた植物園です。

園内では、四季折々に三〇〇種以上の植物が見られます。もともと園周辺に自生していた植物と村内各地の希少な草花や樹木のみを集めて作られた、いわば「純栄村産」のこだわりの植物園です。

栄村は植物の宝庫

故石澤進先生の調査等により、村内ではこれまでに一四〇〇種を超える植物が見つかっています。津南町も含めた苗場山麓ジオパーク内では、約一五〇〇種もの植物の分布が確認されています。

そのため、この地域は、「生きた植物図鑑」とも言われています。どうしてこんなに多くの植物を見ることのできるのでしょうか。

実は、この地域は日本海側の多雪地帯の植物と、雪があまり降らない太平洋側の植物とが交わり混在する地域なのです。そのため、この地域が分布の南限だったり、北限だった

りする植物が数多くあります。

また、海拔二百数十メートルの千曲川の川原から、二千メートルを超える苗場山の高層湿原まで実に多様な環境があり、それがより多くの植物の分布を可能にしているのです。

このような村内の多様な自然環境から、様々な植物が集められて作られたのが栄村自然植物園なのです。

園内に集まる多様な生き物

植物園で見られるのは、植物だけでなくありません。昨年からの調査で、植物園では約三十五種のチョウ類、そして、約二十種類のトンボ類が確認されています。

チョウ類では、我々の調査でもまだ園内でしか確認していない種や、全国的にも極めて希少な種なども複数確認されています。今後まだまだ種数が増えていくと思われます。

どうしてこんなに多くのチョウが園内で見られるのでしょうか。それは、幼虫がその種ごとに異なった植物を餌としているからです。

園内には、草地を好む植物、日陰を好む植物、さらに湿地を好む植物など、多様な環境が作られ、異なる植物が育っています。そのことが、産卵や吸蜜のために、より多様なチョウ類が集まることにつながっている

るのです。

昨年の調査では、園内に植えられていたコシノカンアオイなどの食草にギフチョウの産卵を確認しました。試しに、昨年さらに多くの食草を移植したところ、今春、早速ギフチョウの産卵を確認しました。

また、園内には、三つの池があります。ここにもトンボ類をはじめ、クロゲンゴロウやモリアオガエル、アカハライモリなど、県内や全国で絶滅が心配される多くの生き物の生息空間ができあがっています。

栄村自然植物園は、まさに栄村の多様な自然が凝縮された場所と言っても過言ではありません。

園内に迫るイノシシの脅威！

現在、植物園の管理は教育委員会が中心に行っています。希少な植物の生長を妨げるススキや外来植物等の除去など、園内の植物の維持を苦勞しながら行っています。

しかし、近年さらに困った問題が



園内に咲くヒヨドリバナに群れるヒョウモンチョウの仲間。

起きています。それがイノシシの園内への侵入です。ヤマユリなどの希少な植物の球根を食害したり、芝生地を広範囲に掘り起こしたりする被害が数多く起こっています。

園内には、再び移植することが難しい植物も数多くあります。なんとか知恵を出し合って、イノシシの被害を防ぎ、希少な植物を守っていきたいものです。

今後さらに、村民の皆さんから栄村自然植物園に関心を持っていただき、園内にある植物やそこに集まるチョウやトンボなど、多様な栄村の自然を大いに楽しんでほしいと願っています。隣接する温泉施設や歴史ある北野天満宮とともに、素敵な散策コースになること間違いありません。

先人が残してくれた貴重な植物園は、村民にとって誇るべき財産です。さらに大切し、積極的な利活用を考えていきたいものです。

(希少動植物調査員・涌井泰二)



希少な植物の根際が、イノシシによって深く掘られてしまった。

今日の栄っ子

Vol.54 栄小学校
～コロナをふせぐ集会～

8月24日、2学期の新型コロナを防ぐ生活について確かめるために、全校集会を開催しました。マスクの着用については、マスクをしていないとどのくらい飛沫が飛ぶのか具体物で確かめました。また、オリンピック開会式のように、職員が感染予防のピクトグラムを演じ、「鼻までマスク」「石けん手洗い」「黙食」を全校で取り組んでいく約束として確かめました。児童からは、「コロナを防ぐためにやるのが確かめられた。しっかり予防をしていきたい」といった感想が聞かれました。

2学期初めに、コロナを防ぐ意識を高めるよい機会となりました。



題名

「オリンだるま」

五輪の色の小さいだるまを上に乗せて、オリンピック用のだるまを作りました。



題名

「軽い気持ちで捨てないで」

写真をぼやけないように撮りました。



栄村の伝統を継承する若者たち

※写真は平成22年に公民館報で特集した時のものです



箕作



月岡



白鳥



極野

全国において、8月から爆発的に感染拡大した新型コロナウイルス。これにより、昨年引き続き、2年連続で祭礼を中止にした集落も多いのではないのでしょうか。

そんな中、地域の伝統芸能である獅子舞を絶やすまいと、感染対策を行いながら練習を行っている集落がありました。

月岡集落では、数年前に舞手を若手に引き継いだこともあり、神楽の技術を忘れないようにと今年だけでなく昨年も練習を行っていたといいます。

野田沢集落では、「舞を忘れてはならない」と確認し合い、箕作集落では、「2年も休めば忘れてしまう」と、獅子舞だけでなく、さいとり舞の練習も行ったそうです。

村内各集落にはそれぞれの地域でつないできた祭礼があります。獅子舞を行う地区に盆踊りを行う地区。同じ獅子舞でも、舞も違えば獅子の表情も異なり、お囃子のリズムも集落によって様々です。こうした地域に根付いた集

落芸能は、世界に唯一といっても過言ではありません。

多くの集落で祭礼を中止にした理由は、恐らく「普段会わない人との接触を避けること」「密を避けること」の2点であったのではないのでしょうか。この2点を回避し、自分自身の行動にも注意を払いながら、感染対策をどのように行うかを考え実施したと聞きました。

一年単位で考えると、いつでも復活できると思われがちですが、新たな若者が加わったり、子どもが成長したり、また、転出や引退があったりと、地域は少しずつ変化しています。

全国的なウイルスの感染拡大が深刻化し、全県において行動を制限するような指示が出てしまえば、我慢を強いられることも多々あるかと思えますが、感染状況に応じて、できる範囲でできることを考え、実践する姿を見せることも大切なのではないかと気づかされました。

(文責：島崎)

公民館報

さかえ

第342号

令和3年9月1日発行

発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺9214-1

電話
0269-87-2100

編集
栄村公民館報編集委員会

野菜くずたい肥に挑戦!!

6月に作ったぼかしを使って、7月11日(日)、こらっせにおいて野菜くずたい肥に挑戦しました。

ぼかしを使った野菜くずたい肥は、6月4日の講演会で講師を務めた、吉田俊道さんの方法で実践。栄村の給食を考えようの会の皆さん含め総勢14名で、①野菜くずをちぎって、②踏んで、③ぼかしと混ぜて、④畑の表面に軽く混ぜて、⑤マルチをかけてねかせました。

6月4日の講演で実践した草をたい肥にした畑にも、たくさんの菌糸が出てきています。こらっせ向かいの畑で実験中ですので、お近くにお寄りの際はぜひ結果を見にきてください。



こらっせ通信

こんにちは！
管理人
廣瀬幸利です。



開館してから8月6日で5年が過ぎました。入館者の集計を行っているのですが、7月末で総入館者数(村内外の見学者、公民館講座の受講者、用事で訪れた方の合計)は9,734名となり、1万人まで266名となりました。

5年間で1万人、単純計算では、年間2千人弱、つまり延べ人数ではありませんが、栄村の人口以上の方に来館して頂いた事になります。内訳で一番多いのは公民館行事やその他何らかの用事で訪れた方で総数の半分以上ですが、見学に来館される方も総入館者数の約1/4となっています。見学者の多くは村外の方で村内の方との割合は村内1に対して5です、この状況は開館当初からでも今も変わっていません。こらっせには大昔の栄村の様子を伝える貴重な品が沢山そろっています。ひとつとそれらを見ると今までのふるさと栄村に対する考えが変わります。エアコンの効いた館内であつらうのも最高です。是非「こらっせ」へ来ててください。

栄村青少年育成協議会

放課後に自然学校を開催

開校から20年余りが経過した栄村自然学校。これまで土日といった、子どもたちの休日に開催をしてきましたが、子どもたちが参加しやすい活動の工夫として、本年より休日開催に加え、放課後の時間を活用した自然学校も開校しています。放課後開催への参加者は25名と全小学校児童の半数を超えており、需要の高さが伺えます。今後も山城探検や森あそび等、栄村の資源を堪能する活動を取り入れながら、これからの放課後の子どもの居場所づくり計画を進めています。



放課後自然学校にて～自由遊びの中で～

ちいばあがやってくる！

子どもと一緒に考えよう！ 生きることと性のこと

さまざまな方法で情報が得られる現代。子どもたちが間違った性の情報に触れてしまう前に、幼いころから家庭で性について考えてみませんか？当日は感染防止対策を徹底して行います。参加希望の方は、教育委員会事務局内栄村公民館（☎87-3118）までお問い合わせください。定員20名になりしだい締め切らせていただきます。

- 期日：令和3年9月25日(土)
- 時間：13時（受付：12時30分～）
- 会場：さかえ倶楽部スキー場
- 講師：がらくた座 木島知草氏
- 内容：第1部 子どもと大人を対象にした人形劇
第2部 大人を対象とした講演会
- 主催：子どもに伝えよう！性と生の会
（住民グループ主催で行ないます）
- 共催：栄村青少年育成協議会 栄村公民館

一石を投じる

あつという間に盆が過ぎ、虫の声が聞こえる季節になりました。昨年引き続き、今年もコロナによって帰省してくるはずの子どもや孫に会えなかったり、大雨洪水警報が発令されたり、盆に祭礼を行っている地域では、祭礼が中止になったりと、お盆という気がしなかった方も多いのではないのでしょうか。

そんな中、東部谷ではお墓にヨシを引き、萩や栗をお供えしたり、家の中に盆様をこしらえたりする方が多くみられます。写真(左)



は、藤木幸平さん(極野)宅の盆様。幸平さんのお宅では、葦を刈り、自分で葦簀を編むところから作っているといひます。

先日の編集委員会の中で、盆にお供えする料理について話があり、ある編集委員のお宅では、13日の迎え盆は、お迎えに行つた後、普段のお供えに加えて、天ぷらや夕顔料理をお供えし、16日の送り盆にはそうめんをお供えするそうです。

年中行事と郷土料理

栄村には、盆様をはじめ、恵比須様、庚申様、年末年始、お彼岸と、何かあるたびに3、5、7の縁起のいい数にあわせてごちそうを作る文化があります。

平成20年に発行された「ばあのごつつおうんめえのし」には、郷土料理だけでなく、こういった年中行事やその時の料理、またそのいわれについても紹介されています。ただ、郷土料理というだけでなく、その料理の持つ意味にも触れながら紹介することで、その地の風土にも触れた深みが出てくるように思います。



公民館講座
みみだんご教室(平成30年2月)

唯一無二の地域文化

日本の年中行事は全国共通のものが多いと思いますが、その方法やお供えする料理は、地域によって少しずつ違いがみられます。他にも、14ページに紹介した神楽やお堂や石造も集落によって違いがあります。さらには、前号でお伝えした希少種を含めた動植物も、その地域によって自生しているものが異なります。

「こんな田舎はどこにもありません。そんなセリフをよく耳にします。確かに、一見大自然に囲まれた集落はどこにもありませんが、その地域で培われ、生み出された歴史

や文化は、どこにもあるものではありません。ですから、同じ栄村でもそこに住む地域住民と会話をすることで、ジワジワわかる地域特有の文化や歴史には興味深いものがあります。

辞書で「観光」と引くと、「日常の生活から離れて、普段接する機会のない土地の風景や名所などを見物すること。」と記されています(新明解国語辞典第7版)。また、観光立国推進基本法(平成19年1月執行)には、冒頭で「地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の実現」と謳われています。

経済資本の世の中ですので、観光というお金を落としてもらうことに目が行きがちですが、観光には、その地に住む住民が、自分たちの持つ地域文化の中で、自信を持って生きているか、ということが大事なのではないのでしょうか。

今の日本は、どこへ行っても同じ飲食店やコンビニといった店舗が立ち並び、無個性化しているともいわれています。また、戦後の経済成長に伴う急速な開発行為によって、昔ながらの風土を失ってしまった場所も少なくありません。この無個性化した現代におい

て、昔ながらの風土や、その地域住民と触れ合わなければわからない知恵や技といった限定された地域資源ほど、光輝くと感じています。

栄村・ミュージアム・ビレッジ構想

平成4年の栄村広報に、当時2期目の就任を迎えた高橋彦芳村長のあいさつが掲載されていました。その中には、高橋村長の2期目4年の政策10項目が挙げられており、その4番目に「全村を一つの博物館と感じられるような魅力ある村を整え、都市との交流を展させる」ことが掲げられています。この博物館構想は、のちに広報の中で「ミュージアム・ビレッジ・栄村」として詳しく紹介されていますが、この構想はまさに、その地域特有の歴史や文化、暮らしを村民自身が知り、地域の宝として磨き、外に発信し、村外の方との交流を通して栄村が活気づくというものです。30年が経過した現代にも通ずるこの構想は、時代の流れに左右することのない、「観光」の本質をとらえた構想であると感じています。

未開発であったことが今に活きる

昭和30年代から40年代までの栄村公民館報を見ると、農場や畜産等、産業開発に勢力を挙げて取り組んできた様子が伺えます。これについて、「全国では機械化や大規模農家が増える一方で、栄村はこの地形から、広い農地にすることが叶わず、開発したくてもできなかった」という話を聞いたことがあります。これによつて、「農業ではもうからない」「いい学校を出ていい会社へ」といった考えが村内でも深く根付き、過疎化が急速に進んだのかもしれない。栄村は平成26年に津南町と共に



昭和43年栄村公民館報（1月20日発行記事より）

苗場山麓ジオパークとして認定を受けました。この「ジオパーク」とは、大地の成り立ち（ジオ）と、大地が織りなした自然環境（エコ）、そしてその自然を活かし、共存しながら営まれてきた人々の暮らしの文化（カルチャー）を丸ごと楽しむことができる場所のことをいいます。

また、栄村には村内各所に山城跡があります。中でも仙当城は、規模が大きいだけでなく保存状態もよいことから、長野県でも貴重価値が高いのではないかとわれています。

もし、栄村で地形を大きく変えるような大規模な開発が行われていたら、ジオパークの認定や山城が現代まで残されることはなかったのかもしれない。

昔から変わらぬ地域文化+ 無個性化社会+未開発地域+ 新型コロナウィルス+ SDGS II

新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、田舎への移住を考える方が増えているといえます（内閣府調査（2020年5月）。また、2015年に掲げた世界的目標であるSDGs「持続可能な開発目

標」によって、「持続可能な」というフレーズが国だけでなく、企業においても多く使われるようになってきました。

災害に見舞われても災害前と比較的変わらない生活を送れたり、経済危機や感染症防止のための行動制限があつても、日常の生活を大きく変えることなく暮らしが継続できているのは、栄村の自然を活かしながら共存する暮らしが「持続可能な暮らし」であるということなのだと思います。環境問題や世界平和等SDGsの目標達成にはまだまだ取り組まなければならないものがありますが、こういったことに関心の高い人がいるのも事実です。

これからは都会を目指すのではなく、田舎を目指して人が動き出す時代になるかもしれません。その中で、これまで残されてきた栄村の風土と地域の持つ唯一無二の資源とどう向き合い、磨きをかけていくか。これは行政だけでなく、住民の思いや行動があつて初めて実現できることだと考えています。

コロナ禍で行動が制限されているこの時間を、「蓄積の時間」ととらえ、足元にある地域資源を見直してみませんか。（文責：島崎）

あーそんなことがあったんか
〜ど先生の栄村昔語り〜 其の四十六

『薬を買う』②



会 志 有 全 保 料 史 域 地
鈴木 努 (通称：ど先生)
イラスト作成：佐藤洋平

秋口にかかり残暑もだいぶ和らぎました。感染禍は収まりを見せませんが、皆様ご安全にお過ごしのことと存じます。この夏は五輪と猛暑に加え、日本の医療の苦しい現状が盛んに報じられました。本稿では前回、江戸時代の秋山の人々が近江国(滋賀県) 日野の薬売りから薬を買っていたという話題を取り上げました。今回はその続きを致します。

薬の行商といえば富山の置き薬の名前がすぐに浮かびます。三都はもちろん九州から松前までほぼ全国に展開する越州富山の薬売り

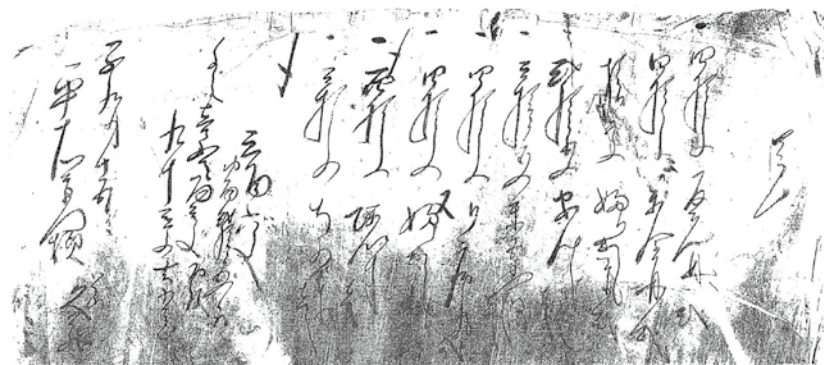
は、秋山にも足を運んでいました。秋山の人々が薬を買うようになった時期はけっこう早いようで、享保五年(一七二〇) 四月付けの「い年(享保四・亥年) 下りの薬代二百文を(小赤沢の) 平右衛門が庄屋の三左衛門に子年四月二八日に返済した」という覚書があります(福原国吉家文書)。「四大売薬」の行商が始まった時期は諸説ありますが、富山が元禄から享保期(一六八八〜一七三六)、他の三地域はだいたい享保期ごろと言われています。また初期の売薬行商は「大庄屋廻し」という委託販売方式でした。先の覚書が記す平右衛門から庄屋三左衛門への薬代返済が大庄屋廻しの薬を買ったものだとすれば、時期とあわせ初期の売薬行商を示すものであり、売薬が回るようになるにつれて秋山の人々も薬を買うようになったとみることができます。

秋山の人々が富山の薬売りから買っていた薬は、現存する子年九月付けの覚書(福原国吉家文書)

書)によれば反魂丹・万金丹・痢病丸(胃腸薬や腹痛・下痢に効く薬)や安神散・五香湯・血之薬(冷え性や生理痛などに効く婦人薬)、「ふりだし」という煎じ薬でした。反魂丹は富山売薬を代表する薬で、万金丹・五香湯などもよく知られた薬です。単価は反魂丹が一包み二十文、他も十五〜四十文と安価でした。まだ解熱鎮痛剤の製法がなかった時代なので、胃腸薬や整腸薬、血行促進の薬が主な買物となります。ところで秋山には日野と富山の薬売りが入っていますが、両者の関係はよくわかりませんが、同じ地域の商人同士での懸場(商圏)争いを禁ずる規制はありましたが、他地域の商人との関係は不明です。もともと、残っている覚書の日付から日野の人は四月、富山の人は八・九月に来ていたので、両者がかち合うことはほぼなかったようです。

それから、江戸時代の秋山の人々は薬を買うためにお金を出し合っていたような形跡があります。福原国吉家文書には、表紙に寛政八年(一八〇〇)七月二十五日の日付と「薬薬」と追記された帳面があり、小赤沢・天酒・大赤沢・屋敷・上野原・こば・よこね・和山の各村、合計四四人による五十文から四百文ずつの出し金を付けてあります。秋山には毎年の人別銭や臨時の香料などを全域で集金する仕組みが出来ていたようで、出し金を付けた帳面が多数残っています。こうした仕組みが使われたのでしょうか。薬代と考える根拠は表紙の書き込みしかありませんが、協力して薬を買っていたとすればなかなか面白い事例だと思います。

富山の久蔵から平右衛門宛ての売薬覚書



富山の久蔵から平右衛門宛ての売薬覚書

栄村公民館 図書室だより

..... 2021.9.

コロナ給付金で図書を充実

思うように出かけることのできないコロナ禍。自宅で過ごす時間の充実を図るため、コロナ給付金を活用して図鑑や趣向本を充実しました！ほんの少しだけ紹介します。

手芸本



大人の昆虫・植物図鑑



大人もやさしく学ぶ環境問題



9月中旬以降に随時入荷予定です！ みなさん、マスクを着用の上、図書室へおでかけください！

冬期移動図書準備中



今年もオレンジカーで巡回します！

ご希望の方は栄村公民館(87-3118)まで

昨年、多くの方にご利用いただきました移動図書。今年も準備を進めています。昨年度多くの方にご利用いただいた集落と、村民の皆さんから要望のあった集落は、停車時間を多めに設定して巡回を計画します。移動図書の巡回を希望する方、移動図書車の駐車場所を変更してほしい方は栄村公民館図書室(☎87-3118)までお問い合わせください。

今年も多くの皆様からのご利用をお待ちしております。(移動図書巡回計画は、11月頃お知らせいたします。)

★栄村図書室開放時間★

平日 午前8時半～午後5時
土・日 午前9時～正午

9月～10月の休館日は…

9月：18日(土)、19日(日)、20日(月)、23日(木)

※祝日及び連休は休館日とさせていただきます。

★栄村図書室土日開放

ボランティア募集★

1～2か月で1回程度の当番です。村内在住の成人している方ならどなたでもできます。ゆっくり読書や調べ物が出来ますよ！お問い合わせお待ちしております。

お問い合わせは☎87-3118(栄村公民館図書室)へ。

ようこそ栄村へ



片岡さとしさん 啓子さん

①栄村を選んだ理由は？

身体が敏感すぎて都会では生きていけないと思い移住先を探していたところ、和山集落を紹介していただきました。泊まったときに近隣の方の人柄や環境に居心地の良さを感じたのでこの地(和山)に決めました。

②栄村は豪雪地帯ですが、不安はありませんか？

二人とも雪の降る北海道と新潟から来たので、雪は楽しみです。雪に埋まりたい。人型を作ってみたいです。

③これからどんな暮らしをしていきたいですか？

健康でいられるように、たくさん学んで土地の人や森と仲良くなりたいです 😊

おおきくな〜れ



おおきくなったら看護師になってみんなをたすけてあげたい！

ディズニーランド入ってみたい！

ひより
日和ちゃん(5才)

大好きで夢中になれる何かと出会える時を楽しみにしています！

阿部佑哉さん・絵美さん宅(大久保)

村民広場



久保田幸士さん(22歳)箕作

私は、3月に4年間通わせてもらった大学を無事に卒業しました。4月からは地元の長野県に帰ってきて働いています。住み慣れた栄村にまた戻ってこれて、生活出来ている事をとても嬉しく思っています。社会人1年目でまだ分からないことばかりではありますが、やりがいのある職場でこれから更に成長していけるように頑張っていきます。



上倉琉希さん(17歳)横倉

高校3年の上倉琉希です。現在、小さい頃からの夢である消防士に向けて日々努力しています。

突然ですが、皆さんは「山」と聞かれて何を想像しますか？私は登山一択です。そもそもなぜこんな質問をしたのかと言うと、私は高校で登山部に入っていたからです。部活に入る前までは山をただ見るだけの存在としか思っていませんでしたが、実際登ってみると楽しくて山頂から眺める景色は最高でした。

もし、山に登る機会があったら一度でもいいので是非登ってみて下さい！

越智の江戸日記

二地域居住をしたときに、小学校や中学校ってどうなるのだろう、と思っていたのですが、調べてみると「区域外就学」という制度があることがわかりました。区域外就学とは、住民票がある地域の教育委員会から指定された学校以外に通うことのできる制度のことです。要するに、転校せず今までと違う学校に通えるよ、ということ。区域外就学をするには、公立なら通いたい学校のある教育委員会、私立なら学校から許可をもらい、もともとの教育委員会へ届け出ればOKとのこと。ただ、やっぱり学校によって授業の進捗などもあるので、先生たちの話し合いなども行われることもあるのだとか。

徳島県や長野県塩尻市では、「デュアルスクール」という名前の取組で区域外就学を積極的に取り入れています。こういった取組の良いところは移住者や二地域居住者を呼び込めるということもありますが、こどもたちにとって（もちろん子どもが望めばですが）今までと違う場所で、新しいものを見たり知ったりと、多様な価値観を生み出すきっかけになることだと思います。最近はフリースクールなども多くなってきていますし、価値観や認識など教育の幅も広がっている中で、子どもにとって何が良いのか、「私」がどう行動すれば自分子どもも幸せになるのかと考えることもあるかと思っています。区域外就学という選択肢がその助けになれば幸いです。

参考：徳島県HP (<https://dualschool.jp/>)

山のおすそわけ ~ 栃の実編 ~

9月1日は栃の実拾いの解禁日。最近では「きれいな水が流れる小川がなく、栃のアク抜きが出来なくなった」という話も聞きますが、福原トシ子さん（小赤沢）は、今でもたくさんの栃の実を拾い、栃餅を作っています。「粉にしてから餅にする人もいるけど、私は餅米をふかす時に入れてるんだ。」と作り方を丁寧に教えてくれました。



トシ子さんの作り方

- ①夜の内ににおけに栃を入れ、水をいっぱいに入れる。
- ②一晩たったら、トチの皮がふやけるのでむく。
- ③午前中にお湯をトチがひたひたになるくらい入れて約1週間置いておく。
- ④1週間たったら、水を開けて、灰を塗して熱いお湯をいっぱいに入れる。
- ⑤5日～1週間たったら水を空ける。
- ⑥トチ餅にする時は、餅米をふかす時にトチも入れてふかしてから、餅をつくるとトチ餅になる。

今月の一句 ~ 栄村俳句会 ~

| | | | | | | |
|--------------|--------------|---------------|--------------------------------|-------------|----------------|--------------|
| 蛙取り泥んこ遊び裸足の子 | 移り来て今万緑の中に在り | 紫陽花薔薇のかほりし美容室 | 文庫本持て追ひ払う夜の蠅 <small>はえ</small> | 仕事すみ久の外夏マスク | 穏やかに老いて生きたし暑き夏 | 夏コロナ緑豊かな村に住む |
| 杉浦恵子 | 柳 静江 | 馬場澤子 | 関谷貞子 | 斉藤はる子 | 山田セキ | 福原勇一 |

編集後記

7月23日～8月8日までの17日間、東京オリンピックが開催されました。コロナ禍で感染者が増えている中、いろいろな論議もありましたが、メダル獲得が最多となり、たくさん感動をそれぞれの選手からもらいました。開催するにあたって関係者の皆さんのご苦労があったからだと思います。この期間、TVに釘付けの毎日でした。

⑤美

